

《 砂丘の
絶滅危惧種 》

知ってほしい、絶やさぬために 「ハナハタザオ」ガイドツアー開催

開催日：2021年6月13日（日）・20日（日）※雨天中止

- 時間／①10:30～、②13:00～
- 場所／砂丘エリア
- 申込／事前申込（TEL：029-265-9001）
- 定員／各回20名
- 受付／海浜口・風のゲート
- 参加費／無料
- 協力／野生植物パートナー

国営ひたち海浜公園では、絶滅危惧種「ハナハタザオ」の保全に取り組んでいます。生育地点が少なく、環境省レッドリスト(2020)および茨城県レッドデータブック(2012)で絶滅危惧IA類に選定されており、茨城県内では当公園でのみ生育が確認されている希少な植物。開花に合わせ、圃場での育成・増殖活動の紹介や、自生地の観察を行うガイドツアーを開催します。



ハナハタザオ(2021年6月2日撮影)

◆砂丘に咲く薄紫色のかれんな花

ハナハタザオは、アブラナ科ハナハタザオ属の越年草。秋に発芽して冬を越し、春に開花結実して個体のライフサイクルを終えます。名前の由来は、旗竿のように1本茎で立ち、花が美しいことから。主に山地や海浜の明るい砂地に生え、草丈は15～50cm。6月上旬～7月中旬頃、薄紫色の花を咲かせます。

◆過酷な環境の砂丘は希少な植物の宝庫

砂丘エリアには、ハナハタザオのほかにも希少な植物が生育しています。直根を深く伸ばすことで水分を確保する「ハマボウフウ」や、奇数羽状複葉で黄色い花の「カワラサイコ」など、茨城県レッドデータブック(2012)で準絶滅危惧に選定されている植物もガイドツアーで観察することができます。

◆無事に咲いてくれると、喜びもひとしお

ハナハタザオの保全活動は、公園のボランティア「野生植物パートナー」の皆さんが中心となって行っています。園内の開花株数調査のほか、種を取り、育てた苗を砂丘に定植することで、種の保全に努めています。



ハナハタザオガイドツアーの様子
(2019年6月16日撮影)



ハマボウフウ(2021年6月2日撮影)

Information
そよかせ通信夏号掲載の「夏のすごろく」が
公園HPからダウンロードできます

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp>